

事務局にて急ぎよ作成した資料のため  
今後、内容に変更が生じる可能性があります。

## 第1回 横浜市新たな劇場整備検討委員会管理運営検討部会

### 1. 各委員の発言要旨

- ・コロナ禍においては、目前の対応としての財政支出が求められるが、財政支出だけでなく生産性の回復など次のステップの取組が必要であり、劇場整備が日本経済復活のための鍵となる。
- ・IT化やデジタル化の加速、グローバル化からの逆行、コミュニティのあり方の変化など、社会状況が変わっていく中で、より長い目で政策を考える必要がある。
- ・短期で結果が出る取組ではないことから、中長期的な視点でゴールを設定する必要があり、そのことについて十分に市民に説明していかなければならない。
- ・劇場は、舞台芸術の愛好家だけのためではなくて、すべての人に必要である。
- ・社会構造に大きな変化があったときに立ち直る力(レジリエンス)への支えが重要であり、それが文化芸術である。
- ・「文化は確かに高くつく。文化は、私たちがそれを楽しむゆとりがあったり、あるいは取り消したりできるような贅沢品ではない。私たちの内面に本来備わっている生き抜く力を確実なものにしてくれる精神的基盤」とヴァイツゼッカー元大統領はドイツ統一直後そう語っている。表現の自由、寛容さは、これからの社会にとって非常に重要であり、文化芸術により涵養される。
- ・2015年の難民危機の例。ドイツでは劇場関係者がシリアからの難民を歓迎し、公演の最中に劇場の楽屋やホワイエで寝泊まりさせた。官庁街にあるマクシム・ゴーリキー劇場では、難民の劇団を作り、難民を舞台に立たせた。政府関係者が劇場に通うことで、舞台を通じてその国の状況に思いを寄せるようになった。日本のドメスティックな文化政策と違い、ドイツではこういったグローバルな文化政策により、寛容の精神が養われている。
- ・ドイツでは1.3兆円が文化予算。芸術文化がもたらす共感の力がドイツ社会の分断を食い止め、連帯感を醸成している。また、芸術文化による交流がグローバルな安全保障に寄与していると言える。さらに、ドイツの文化GDPは13兆円に及ぶ。ドイツ最大の自動車産業は20兆円。公共文化政策を投資とみれば、10倍の経済価値を生み出している。文化芸術は先進国に共通する成長産業である。
- ・オペラやバレエなどのジャンルを越えて色々なパフォーマンスが生まれるので、新しいものを発信できるようにするべき。
- ・新たな劇場ができることで、町の雰囲気が変わり、国際交流が生まれ、経済も回る。

- ・横浜は他都市に比べ歴史が浅く、「横浜はこういう場所」という実態、軸がない。横浜の魂になるものは何か。街を街たらしめるのは市民であり、市民力をあげるときに、サステナビリティが大事で、それがブランドになっていく。
- ・今、日本人に足りないものはリベラルアーツ。舞台芸術は総合芸術、チームワークであり、学べるものはたくさんある。心豊かで他人の立場に立てる人、皆でひとつのものを創り上げていく感性を市民力として育てることが大事で、それには劇場で行われる総合芸術が大変価値があり、有効である。
- ・中途半端な劇場はいらない。プロから見ても横浜でやりたいというような劇場にしてほしい。
- ・ブランディングについては委員の中でもイメージ共有が必要。パリ・オペラ座と並ぶようなものを想定するのか、そのためにはどういうものが必要なのか、議論を進めていく必要がある。
- ・新国立劇場は貸館をやっていないため、横浜に最高水準の劇場ができれば、プロモーターによる海外招聘公演は横浜だからこそうまくいくだろう。
- ・オペラの自主制作（創作オペラ）は約1億円程度の費用がかかる。これは海外招聘の2倍程度の費用だが、これを高いとみるかどうか。自主制作では劇場全体のモチベーションや職員の技量が上がるというメリットがある。
- ・人材育成に向けてぜひアカデミーを抱えてほしい。例えばびわ湖ホールでは若いオペラ歌手が劇場の活力維持に貢献している。
- ・運営費以外にも修繕費や人件費が増大していくため、開館後の費用を検討すること。

## 2. 部会長のとりまとめ

- ・検討委員会の総括意見を踏まえた2つの対応方針（わが国を代表する劇場を目標とする意義、オペラ・バレエなどの分担について）につき部会でも内容を確認した。各部会がバラバラに議論しても意味がないので、本日の内容は基本計画検討部会にも共有すること。
- ・次回以降具体的な検討作業に入る。とりわけ育成機能は日本ではあまり例がないので、事務局でも研究をしてほしい。
- ・今後、新国立劇場との関わりを考えていくためには、国との調整状況も重要となるので、随時状況につき共有いただきたい。
- ・委員から提起のあったブランディングについては、重要なテーマとして議論していきたい。